

1. 重複チェック

[チェック]-[重複チェック]に、図形区分が射影部の下端どうしの組み合わせを除外するオプションを追加しました。以下、操作説明書からの抜粋です。

面・線要素の線の重なりを検出します。

線の重複チェック

組み合わせ

全ての組み合わせでチェックする

同一大分類内でチェックする

同一分類内でチェックする

同一分類コード内でチェックする

対象外 (その1)

射影部の上端下端の組み合わせは対象外

射影部の下端下端の組み合わせは対象外

2次元要素とZ値が-999以下は対象外

陰線(間断区分する)は対象外

標高値が異なる場合のみリストアップ

チェックパターン (上の設定を変更)

同一分類コード内での重複検出

垂直な面(Z値が異なる重なり)検出

陰線以外の重複検出

対象外 (その2)

表現補助データは対象外

建物(3001-3004)間は対象外

オプション

レポートパネル出力

OK キャンセル

【射影部の上端下端の組み合わせは対象外】図形区分が射影部の上端と射影部の下端の組み合わせをチェックの対象外とします。

【射影部の下端下端の組み合わせは対象外】図形区分が射影部の下端どうしの組み合わせをチェックの対象外とします。

【2次元要素とZ値が-999以下は対象外】2次元の要素と標高値が-999.0以下の3次元要素はチェックの対象外とします。標高値が定義されている3次元要素をチェックの対象とします。

【陰線(間断区分する)は対象外】間断区分が1から9の要素を対象外とします。

【チェックパターン】上の設定について、目的別のパターンを設定します。

【同一分類コード内での重複検出】同一分類コードの要素の重複を検出。

【陰線以外の重複検出】印刷時に線の重なりとなる可能性がある箇所を検出。

【垂直な面(Z値が異なる重なり)検出】XYが同じでZが異なる重なりのみを検出します。

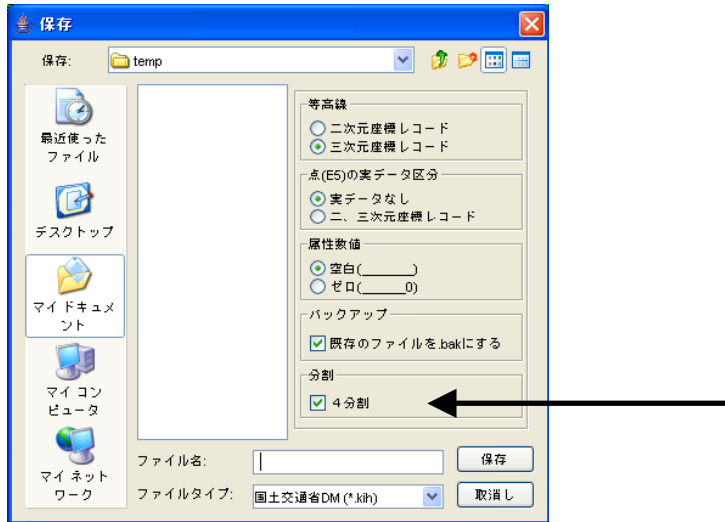
TIN作成で垂直な面になる可能性があります。

【表現補助データは対象外】図形区分が表現補助データとなっている要素をチェックの対象外とします。

【建物(3001-3004)間は対象外】普通建物、堅ろう建物、普通無壁舎、堅牢無壁舎の組み合わせで線分が重なっていても、リストアップしません。

2. 4分割

DM データファイルの保存で、4分割するオプションを追加しました。
以下、操作説明書からの抜粋です。



【既存のファイルを.bakにする】 ファイルを保存する前に、既存の DM ファイルがあれば、拡張子を.bak に変更してバックアップファイルとします。

【4分割】 ファイルを2 x 2の4部分に分割して4個のファイルを保存します。指定されたファイル名に「1」「2」「3」「4」をつけた名称にします。例えば「test.kih」の場合「test1.kih」等となります。

1	2
3	4

図郭の縦横の距離は元データの半分になります。図郭レコードについては図郭位置以外は元データのままで。